

南九州市男女共同参画基本計画に基づく令和2年度実施事業の 進捗状況についての評価に対する意見について（報告）

本計画の令和2年度の実施事業の進捗状況に対する内部評価（各担当課，まちづくり推進課及び男女共同参画推進会議）の報告を受けて，信頼性及び客観性を付加する観点から，外部評価として実施しました。

以下，評価に対する審議会の意見として報告いたします。

【1. 多文化共生について】

外国人技能実習生などが参加できるイベントや講座の募集について，現在はまだ一部の限定された外国人のみを対象をしている状況であるので，対象者の拡大・周知の徹底等，幅広い活動を行い多文化共生の視点に立った推進をしていただきたい。

【2. 光回線の普及について】

世の中がステイホームやリモートワークなど新しい生活様式に沿ったライフスタイルに変化しつつある中，光回線の普及は今後の女性活躍施策を進める上でも極めて重要であるため，市内全域で早い普及を目指していただきたい。

【3. 避難所運営について】

避難所運営方法等について，運営の仕方や運営する際の注意点，特に男女共同参画の視点の共有などの情報が実際に避難所となる公民館まで行き届いていないようである。

今後は，地区公民館主体となり避難所を運営するケースも想定されるため，地区公民館に対し，男女共同参画の視点を踏まえた防災についての学習や，避難所運営に対する研修を積極的に行っていただきたい。

【4. 高齢者関連施策について】

①認知症関連

認知症関連の事業について，認知症サポーター養成講座等の施策を多く行っているが，行政だけでいくら頑張っても限界があるため，民間企業など外部に協力をもらいながら，広報活動や研修を行うなど官民一体となって地域を支えていただきたい。

また，認知症のサポートは常日頃のつきあい等地域のつながりが重要であるが，まだまだ市民に浸透していないため，さらなる情報発信を行うとともに，認知症をテーマとした高齢者学級・公民館講座等の実施や，福祉施設や民生委員など色々な立場の人と連携した活動の実施等，地域全体を巻き込むにはどうしたらよいかを検討しながら推進していただきたい。

②高齢者の避難

高齢者の避難の在り方について、いざ避難するとなった際に、高齢者が自分でどのような行動を取るべきか、また、支援する側も高齢者に対してどのような行動を取ってあげるべきか等の対応が難しい。

地域の中にはいざという時に頼るべき存在として、自治会長や民生委員、自主防災組織がいること、緊急時の連絡先や、緊急時に取るべき行動等をもっと高齢者に周知してほしい。

また、防災訓練について、常日頃からの訓練は大変有意義であり、訓練回数を重ねることが重要であるため、訓練の重要性を幅広く訴えていただきたい。

【5. 児童へのワクチン接種の啓発】

コロナワクチン接種について、接種する様子がメディアで多く放映されている。

メディアの影響で、これからワクチン接種となる小中学生が怖いと感じ予防接種に行きたくないという人が多くいると聞くため、子どもたちにワクチン接種は大切であるということ伝える工夫をしていただきたい。

【総評】

今年度は令和2年3月に第2次南九州市男女共同参画基本計画が策定されてから初めての
の新計画に基づく評価となりました。

新計画の中には、国の方で推進している「働き方改革」や「女性活躍」、「多文化共生」などの取り組みも幅広く盛り込まれておりますが、この度のコロナ禍により、非正規雇用の多くを占める女性の失業や、ステイホームが増えたためのDVの増加など、新たな課題も出てきたところです。

今後は、本市の取り組みに加えて、そういった新たな課題への対応も踏まえながら取り組んでいく必要がありますので、社会情勢に合わせた柔軟な対応をしていただくとともに、今後とも男女共同参画社会の実現に向けて計画を確実に実行し、推進していただくことをお願いして評価いたします。

令和3年11月10日

南九州市男女共同参画審議会